

文化の窓

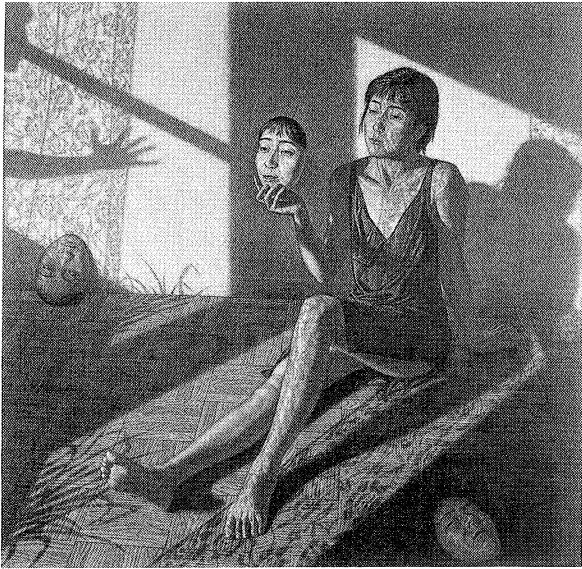
県立美術館企画展案内

第三回具象絵画ビエンナーレ

《人の生きる・今》

期間 十一月十一日(土)から
十二月十日(日)まで
場所 福島県立美術館

今日の絵画は、写真のように写實的に描いた絵画から、線や色面を組み合わせた抽象絵画まで、さまざまな表現がみられます。その多様性は、二十世紀の絵画のめまぐるしい展開の結果でもあり、また画家たちの絵画に対する考え方や現代という時代のとらえ方をも反映しています。



▲稲垣孝二「午後」

このような絵画の現況の中で、抽象絵画を除いた具象的傾向の絵画作品を一年おきに紹介するのが「具象絵画ビエンナーレ」です。

三回目を迎えた今回は、現代日本の具象絵画の状況を反映した内容とするため日本画家からの出品をも求めました。そして「人の生きる・今」というテーマを設定し、画家たちが現代の世界と人間について、どのように考え、そして表現しようとしているのかを問うています。

出品される作品は、風刺性の強い戯画的なもの、幻想的な心象風景、日常生活の一コマをユーモラスに描いたもの、人物や風景を抽象的に表現したものなどさまざまです。これらの作品は評価の定まった名作ではありませんが、私たちと同じ時代を生きる画家たちによる生まれつきの絵画の中に、新しい美を発見できるかもしれません。

観覧料

一般・大学生	610 (510)	円
高校生	460 (360)	円
小・中学生	300 (200)	円

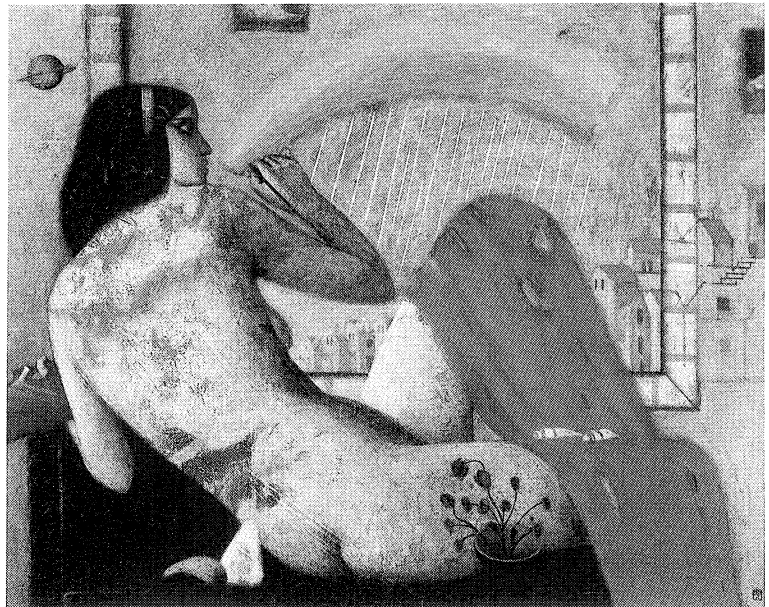
※()内は二十名以上の団体料金

休館日

毎週月曜日 11月24日(金)

《出品作家》

明山 応義	伊藤 清和	稲垣 孝二	内田あぐり
大沼 映夫	奥谷 博	奥村 光正	筧 本生
金森 宰司	川口起美雄	川端 健生	絹谷 幸二
黒田 克正	小杉二郎	斎藤 吾朗	櫻井 孝美
佐々木 豊	佐藤 泰生	島田 章三	滝沢 具幸
谷川 泰広	玉川 信一	田村能理子	土嶋 敏男
野田 弘志	平賀 敬	星野 真吾	堀 敏男
松井ヨシアキ	八島 正明	山本 直彰	米谷 清和
渡辺 恂三			



▲佐々木豊「虹を描く」